

平成28年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

- ・希望ヶ丘南地区は起伏に富んだ丘陵地で戸建ての住宅が多数を占めています。世代間のつながりも深く、住民の方は地域の学校の活動にも関心が高く活発に活動に参加しています。
- ・希望が丘地区は相鉄線希望ヶ丘駅があり、駅周辺には商店街や飲食店小売店舗があります。西側に集合住宅が多く東側には戸建て住宅が点在しています。福祉活動の事業所も数多くあるのが特徴です。
- ・両地区に共通して、地域の方々は積極的に地域活動に取り組み、住民間で共助しています。学校はじめ関係機関と協働し、住民の方の福祉に対する関心も高い地域です。地域の活動の担い手をどのように増やしていくか、課題の抽出から具体的な取り組みまでを、現在活動を担っている住民の方々が工夫をしておられます。
- ・今年度は、地域福祉の拠点として地域へのきっかけづくりや情報提供を行い、地域の身近な相談窓口になるよう努めてまいります。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・指定管理者として公の施設を効率的かつ公平、公正に管理いたします。
- ・施設利用に関して、地域ケアプラザとして適正に利用していただけるように利用者の方に丁寧に説明にあたります。
- ・設備の保守管理に関して、日常的な点検を施設管理者により実施します。
- ・設備の一部に関しては専門の業者と保守管理契約を結び適切な管理を行います。
- ・植栽の管理について専門の業者と管理契約を結び緑の維持、管理を行います。

イ 効率的な運営への取組について

- ・法人内のメールシステムを活用し、情報の伝達がスムーズにいくように努めます。
- ・労務、経費の事務処理については法人本部担当職員と連携を取り、業務の効率化に努めます。
- ・適正な職員配置をし、業務の効率化を図りサービスの安定に努めます。
- ・水光熱費の節約に努め無駄なエネルギー費の削減に努めます。

ウ 苦情受付体制について

- ・ ご意見ダイヤルの利用に関する情報を各階に掲示します。
- ・ 苦情解決の担当・解決責任者・対応の流れを明確にして館内に掲示します。
- ・ 第三者委員会の設置を明確にして掲示します。
- ・ 苦情に対する対応を記録に残し、改善への取り組みを行います。
- ・ 利用者アンケートや登録団体説明会などでいただいたご意見、ご要望については対応策を明確にし、ケアプラザ新聞に広く利用者や地域の方々に公表します。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 緊急時マニュアル、防災マニュアルを整備します。
- ・ 緊急連絡網を事務所内に掲示します。
- ・ 機械警備により防犯業務を実施します。発報時並びに入館、退館時の記録を残します。
- ・ 機械警備のセキュリティキーは管理台帳で管理者を明確にして管理します。
- ・ 日常の館内点検を実施し記録に残します。
- ・ 来館される方には挨拶、お声掛けを行い館内の様子を把握します。

オ 事故防止への取組について

- ・ 日常設備点検、車両点検を実施し整備不良による事故を防止します。
- ・ 事故、並びにリスクの高いと思われる事柄については法人のリスクマネジメント委員会にて情報を共有し再発防止、事故防止に努めます。
- ・ 労働安全衛生・健康管理を整備し、労働災害発生防止に努めます。
- ・ 事故発生時にはマニュアルに沿って適切な対応をします。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 職員に個人情報保護の研修を年2回実施します。
- ・ 個人情報取り扱い業務一覧表に基づき、適切に個人情報を取り扱います。
- ・ 介護予防支援事業、居宅介護支援事業、通所介護事業の利用契約時には個人情報使用について説明し同意を得ます。
- ・ 個人情報保護のマニュアル整備と確認だけでなく、情報の種類と適切な取り扱いまで深く学び、ケアプラザ職員として資質の向上に努めます。

キ 情報公開への取組について

- ・ 法人の事業計画書、事業報告書、予算書、決算書を窓口に設置します。
- ・ 26年度実施の横浜市指定管理者第三者評価の評価シートを窓口に設置します
- ・ 毎月の広報紙、掲示板を利用し新たな事業、情報を公開します。また、横浜市からの掲示依頼物は速やかに館内掲示版に掲示します。
- ・ ケアプラザ利用者からの情報公開の請求には、横浜市南希望が丘地域ケアプラザ情報公開規程に基づき適切に対応します。
- ・ 介護予防支援事業利用者、通所介護事業利用者、居宅介護支援事業利用者の記録の開示請求には各契約に基づき適切に対応します。

ク 環境等への配慮及び取組について

- ・ごみの処分に関してはヨコハマ3R夢活動を推進し、マニフェストに沿ってごみの処分を実施します。
- ・古紙の処分はリサイクルに出し資源の再生に努めます。
- ・スマートクロックを使用することで、消費電力を「見える化」し、無駄な電力の削減に努めます。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 保健師等	1名（常勤兼務）
主任ケアマネジャー	1名（常勤兼務）
社会福祉士	1名（常勤兼務）

《目標》

- ・要支援1・2と認定された地域の高齢者に対し、介護予防ケアプランを作成します。
- ・今後の介護予防事業の動向を踏まえ、新たな視点から、自立支援に向けたケアプランの作成を行います。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ・通常のサービス地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合、その交通費（実費）を徴収します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・介護予防支援対象者へのスムーズな介護予防プランの提案、サービス提供が行えるように支援体制を強化します。介護予防サービスが円滑に提供できるよう、関係機関やインフォーマル活動団体の把握や関係づくりを行っていきます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
180	183	186	190	192	194
10月	11月	12月	1月	2月	3月
194	196	198	201	205	209

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1 名（常勤兼務）
 介護支援専門員 5 名（常勤兼務 1 名、常勤専従 3 名、非常勤専従 1 名）

《目標》

- ・地域に根差した居宅介護支援事業所として、地域包括支援センター、地域の医療機関、サービス事業所、民生委員との連携を強化していきます。ケアプラザ併設の居宅介護支援事業所として、地域支援に協働していきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ・通常のサービス地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合の交通費を徴収します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ミーティングを毎日行い、ケアマネジャー間での情報共有を密に行っていきます。
- ・地域包括支援センターとのカンファレンスを毎月行い、地域における介護支援の状況報告と支援困難事例の対応策の検討を行っていきます。
- ・専門性の向上のため、ケアマネジャー連絡会・研修会・勉強会に参加すると共に、新任ケアマネジャーに対しての計画的な研修を行っていきます。
- ・リスクマネジメント（個人情報保護・苦情対応・接遇）についての意識を強化し、事故の未然防止を目指します。
- ・コンプライアンスの徹底を行い、帳票類の定期的なチェックや、公正中立を踏まえたサービス提供を行います。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
予防 19 介護 160	予防 20 介護 163	予防 21 介護 166	予防 22 介護 169	予防 23 介護 172	予防 24 介護 175
10月	11月	12月	1月	2月	3月
予防 25 介護 178	予防 26 介護 181	予防 27 介護 184	予防 28 介護 187	予防 29 介護 190	予防 30 介護 193

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- 送迎
- 個別機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - (要介護1) 692 円
 - (要介護2) 817 円
 - (要介護3) 947 円
 - (要介護4) 1077 円
 - (要介護5) 1266 円
- 食費負担 650 円
- 入浴 54 円
- 機能訓練Ⅱ 60 円
- オムツ代 50円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9 : 40 ~ 16 : 45

《職員体制》

- ・ 管理者 1名
- ・ 生活相談員 2名
- ・ 看護師 3名
- ・ 介護職員 11名

《目標》

多様化するニーズに対し、地域・医療・介護が連携し、在宅生活の支えとなるサービスを目指します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

毎日のプログラムはご利用者がご自由に選び参加して頂けます。トレーニングマシンや足浴器なども設置し機能訓練向上に取り組めるようにします。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
840	868	840	868	868	840
10月	11月	12月	1月	2月	3月
868	870	899	812	812	899

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 送迎
- 運動器機能向上

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 1766 円
 - （要支援2） 3621 円
- 食費負担 650 円
- オムツ代 50 円
- 運動器機能向上

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9 : 40 ~ 16 : 45

《職員体制》

管理者 1名
 生活相談員 2名
 看護師 3名
 介護職員 11名

《目標》

地域の中の交流の場とし他者との関わりを持つ事で楽しみや生活意欲向上に繋がるようサービスを提供致します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

近隣の小学校の児童達との交流やイベント等で楽しんで頂いたり、リラックス効果の高い足浴器などを設置しご利用できるようにします。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
18	18	18	18	18	18
10月	11月	12月	1月	2月	3月
20	20	20	20	20	20

● 認知症対応型通所介護事業（実施しているケアプラザは記入）

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 送迎
- 食事

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 1072 円
 - （要介護2） 1188 円
 - （要介護3） 1305 円
 - （要介護4） 1422 円
 - （要介護5） 1539 円
- 食費負担 650 円
- オムツ代 50 円
- 入浴

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：40 ～ 16：45

《職員体制》

管理者 1名
 生活相談員 2名
 看護師 2名
 介護職員 4名

《目標》

多様化するニーズに対し地域・医療・介護が連携し、在宅生活の支えとなるデイサービスを目指します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

少人数で個々の状態、その方の症状など細かいニーズに対応し落ち着いてゆったりと過ごして頂きます。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
120	155	150	155	155	150
10月	11月	12月	1月	2月	3月
155	150	155	140	140	155

● 認知症対応型介護予防通所介護事業（実施しているケアプラザは記入）

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 送迎
- 食事

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 9 2 7 円
 - （要支援2） 1 0 3 6 円
- 食費負担 6 5 0 円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9 : 4 0 ~ 1 6 : 4 5

《職員体制》

管理者 1 名
 生活相談員 2 名
 看護師 2 名
 介護職員 4 名

《目標》

地域の中の交流の場とし他者との関わりを持つ事で楽しみや生活意欲向上に繋がる様にサービスを提供致します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

要支援1・2の認定を受けている方で認知症と診断を受けたご利用者に対して認知症予防に効果的なプログラムを個別に提供いたします。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	1	1	1	1	1
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	1	1	1	1	1

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ・地域の身近な総合相談窓口であることを、ケアプラザ新聞などを通じて広報活動を行い、引き続き周知を行います。
- ・子育て支援事業やケアプラザ新聞などを通じて、子育ての相談窓口であることを周知し、相談の内容に応じて区役所などの関係機関へつなげていきます。
- ・障害の相談については、区の障害者支援担当のケースワーカーや旭区基幹相談支援センターと連携して支援を行います。
- ・地域の総合相談窓口として、地域から上がる相談に広く対応し、適切な支援に繋がってきます。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ・双方が把握した課題に対して情報を共有し、4職種と今年度から配置された生活支援コーディネーター職とで課題解決に向けた地域支援を行います。
- ・ケアプラザで取り組む事業を双方で確認しながら、地域への周知や運営の協力などに努め、課題や目標を共有していきます。

3 職員体制・育成

- ・横浜市の配置基準を満たす適正な人員配置をいたします。
- ・外部研修への積極的な参加を推奨し、専門性を高め制度の理解に努めます。
- ・年間を通じて内部研修計画を立て、ケアプラザ職員として必要な知識を深めます。
- ・職員個々のワークライフバランスに配慮し働きやすい職場づくりを目指します。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ・地域の各種団体の定期会合や行事に積極的に出向き、地域の状況把握に努めます。また身近な相談機関として、各種団体の地域福祉活動に対し積極的に関わり、支援を行います。
- ・支えあい連絡会では、地域住民と行政と連携し協働で、第3期地域福祉保健計画の地区別計画の推進に取り組みます。
希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会共催事業「きぼうファーム」を通じて、両地区間のネットワークの構築に努めます。
- ・旭区自立支援協議会のメンバーとして、障害分野でのさらなるネットワークの構築に努めます。各団体や事業所との情報交換を積極的にかつ継続的に行い、課題の共有を行い、地域での課題解決に向けたネットワークの強化を行います。また地域の各種団体と事業所との顔の見える関係づくりにケアプラザが積極的に関わり、地域での障害福祉のネットワークづくりに取り組みます。

5 区行政との協働

- ・子育て支援事業において、こども家庭支援課や健康づくり係等と連携し協働して子育て支援に努めます。
- ・支えあい連絡会では、支援チームのメンバーとして区や区社協と連携し地域課題の把握や情報提供に努め、第3期地域福祉保健計画の地区別計画推進に向けて協働で取り組みます。
- ・障害者支援において、担当のケースワーカーと情報共有を行い協働で個別支援を行います。
- ・運営方針の遂行、包括的継続的ケアマネジメント支援、地域アセスメントに基づく地域支援を区行政と協働して行います。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・自治会や各種福祉保健活動団体の定期会合や行事に積極的に足を運び、情報収集を行い地域の状況把握や課題把握に努めます。
- ・地域における福祉保健活動団体や社会資源を把握し、情報提供を行います。
- ・ケアプラザの設置目的や機能、ケアプラザでの事業などの周知活動に努めます。
- ・地域課題解決のための情報提供を行います。
- ・施設利用団体の活動紹介を掲示し広く情報提供を行います。また登録団体説明会や年末大掃除会の中で、利用団体の交流会を行い、情報交換や交流の場を設けます。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・登録団体説明会や年末大掃除会の中でご意見を伺う機会を設け、ケアプラザ利用に対する率直なご意見をいただき、よりご利用しやすい環境整備に努めます。また緊急時の避難経路や館内の消火器の設置場所についての説明を行い、緊急時の対応について周知を行います。
- ・館内と外の掲示板にて、2か月分の貸室予約状況をカレンダー形式で掲示をし、貸室の予約状況についての情報提供を行います。
- ・登録団体が福祉保健活動に積極的に参加できるよう、ケアプラザの自主事業でのボランティア活動や地域活動につながるよう情報提供を行い、活動の場のコーディネートを行います。

3 自主企画事業

- ・地域における障害児余暇支援事業「きぼうファーム」を新たに立ち上げ、地域と協働して事業を行い、地域での障害児者支援・障害理解に協力します。
- ・川井地域ケアプラザ・笹野台地域ケアプラザと共催で、障害児余暇支援事業「なっっこスマイル」を開催し、単館で開催が難しい地域ケアプラザで障害児余暇支援事業のサポートを行います。南希望が丘地域ケアプラザの参加者やボランティアは、他の地域の子どもたちやボランティアとの交流や出会いの場となるよう実施します。
- ・子育てサロン mam・mam をはじめとして、子育て支援事業の充実を図り、子育て世代への支援とケアプラザの機能の周知に努めます。
- ・定年退職後の男性を対象にした事業「ダンディキッチン」「ダンディパティシエ」

の事業の活動の一環として、福祉保健活動をおこないます。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ケアプラザの事業からボランティア活動につながるような仕組みを作り、ボランティアの育成に努めます。
- ・ケアプラザ新聞を通じて、ボランティア活動の情報提供を行います。
- ・登録団体や地域の団体に対して、ケアプラザの自主事業やデイサービス慰問などでのボランティア活動の場の提供を行い、ボランティア育成に努めます。
- ・よこはまシニアボランティアポイントの登録研修会を行い、65歳以上の地域の方のボランティア活動の支援を行います。
- ・ジュニアボランティアへの福祉教育や活動の場の提供を行います。
- ・旭区ボランティアセンターと連携をし、ボランティア希望者への活動のコーディネートを行います。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ・ 相談に関することを総合的に受け止め、相談内容を理解し、的確に把握します。
- ・ 相談内容に応じて情報を提供していき、関係機関等に繋がります。
- ・ 相談のみにとどまることなく、必要に応じ継続的にフォローしていきます。

地域包括支援ネットワークの構築

- ・ 個別の相談から見えるニーズやデマンド、相談内容を分析することで、新しいネットワークの開拓に努めます。
- ・ 相談内容の分析から、自宅で過ごす時間が長い高齢者が多いことが分かり、閉じこもりの防止及びボランティア育成を兼ねた「ミニデイサービス（ミディ）」を継続します。
- ・ 介護することへの不安、不満、悩みを解消するために「介護者の集い」をケアプラザ協力医にも毎回協力していただき、継続していきます。

実態把握

- ・ 各種統計資料等から圏域の情報を収集していきます。
- ・ 相談や関係機関からの情報収集などにより、高齢者の個別ニーズや圏域のニーズ、インフォーマルサービス等を把握します。
- ・ 出張講座や地域包括支援センター事業実施後にアンケート調査を実施し高齢者の個別ニーズ、圏域の実態を把握します。

2 権利擁護

権利擁護

- ・ 成年後見制度をはじめ、権利擁護事業や消費者保護など関連する法制度を理解し、それに基づく相談への的確な見立てにより、区役所・区社協等担当部署へつなぐ等適切な支援を行います。
- ・ 成年後見制度等の講演会を旭区社会福祉協議会と共催にて実施していき、普及啓発に取り組みます。
- ・ 区長申立が必要な事例について、アセスメントに基づき、区役所等につなげます。
- ・ 親族申立支援にあたり家庭裁判所への手続きに関して適切なアドバイスをします。
- ・ 親族申立支援にあたり、第三者後見人が必要な場合に適切なアドバイスをします。
- ・ 消費者被害講演会を開催していきます。また、区内地域包括支援センターと協働で街頭キャンペーンを実施し、普及啓発活動に努めます。
- ・ 権利擁護シリーズを年7回実施していき、エンディングノートを使用しての終活のみならず、自分史についてや在宅や施設で暮らすために考える講座、遺言や相続についての講座や講演会を開催していきます。

高齢者虐待

- ・虐待事例に対し、区と支援の方向性を共有し、区との役割分担に基づき対応し、適切な支援につなげます。
- ・各種機関からの情報収集や啓発活動などにより、早期発見に努めます。
- ・介護者支援に積極的に取り組んでいきます。
- ・「介護者の集い」を（奇数月に）開催し、虐待の恐れのある介護者を会への参加につなげ、協力医の参加により専門的なアドバイスもいただき、虐待防止に取り組んでいきます。
- ・区内版高齢者虐待対応フォロー図をケアマネにも周知し、いつでも閲覧できる所に置き活用していきます。
- ・旭区福祉分科会での研修を通じて虐待に対しての意識を向上していき、研修を通じて現場における研鑽に努めていきます。
- ・人権についての内部研修を実施していき、日頃何気なくしている言動や行動を見直し、気付いていくことを研鑽していきます。

認知症

- ・地域住民を対象に「認知症サポーター養成講座」と「認知症について考える講座」を実施します。また、小学生を対象に夏休みを利用したジュニアボランティア講座にて認知症についての普及啓発を行っていきます。
- ・「認知症をみんなで支えるまちづくり検討会」において、関係機関のみならず、地域とのネットワークづくりにむけた連携を図っていきます。
- ・旭区の SOS ネットワークシステムを紹介していき、登録手続きをサポートし、地域包括支援センターエリア内での徘徊高齢者検索のネットワーク構築に努めます。

3 介護予防ケアマネジメント

介護予防ケアマネジメント力

- ・要支援者の主体性、意欲を引き出し、目的指向型の介護予防ケアマネジメントを行います。
- ・委託を行う場合はケアマネジャーとの連携、適切なケアマネジメント支援に対しての関わりを積極的に行います。
- ・地域包括支援センターエリア内、ブロック毎での研修会や勉強会を実施していきま

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・インフォーマルサービス等の情報収集の更新、整理に努め、地域住民等に対し情報提供を行います。
- ・「認知症をみんなで支えるまちづくり検討会」を年 2 回継続し、地域の民生委員、ボランティア団体等各関係機関とのネットワーク構築にむけた連携を図ります。
- ・地域包括支援センターと地域活動交流部門が協働してインフォーマルサービス一覧を更新作成し情報提供していきます。
- ・地区の民生委員や見守りの会等の会に参加し、地域での見守りネットワーク事業に積極的に関わっていきます。
- ・ひとり暮らし高齢者見守り事業を地区の民生委員、区役所と協働し、実態把握に努めていきます。

医療・介護の連携推進支援

- ・ケアマネジャーと医療機関等とのネットワークの構築のための取組み（情報交換会等）を行います。
- ・ブロック毎のケアマネジャー事業所連絡会にて、エリア内の医師等を招きケアマネジャーとの連携を目的にネットワーク構築のための取組みを行います。
- ・エリア内の医療機関（医師、医療相談員等）を個別に訪問していきます。
- ・医師、地域包括支援センターとの連絡票などを活用して、近隣医師との連携に努めていきます。また、近隣医師との連絡会「南希望が丘地域医療連絡会」を開催します。
- ・毎月、ケアプラザの広報誌を持参し、医療機関、薬局等を訪問し連携を図っていきます。
- ・施設協力医には「介護者の集い」に参加してもらい、適宜話し合いをもって、連携に努めていきます。

ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーへの以下の支援体制を構築していきます。
 - ①相談への支援
 - ②事例検討など研修会等の開催
 - ③新人、就労予定ケアマネジャーに対する研修等の実施
 - ④サービス担当者会議の開催支援及びスーパーバイズ
 - ⑤支援困難事例、緊急対応時等の支援
 - ⑥区ケアマネジャー連絡会への支援
- ・毎月、地域包括支援センターとケアマネジャーとの連絡会、ケースカンファレンス等を開催します。
- ・地域包括支援センターエリア内の連絡会、研修会、交流会を実施します。
- ・3地域包括支援センター（南希望が丘、今宿、万騎が原）共催で年4回 研修会、事例検討会を行い、連携を図っていきます。
- ・旭区内地域包括支援センター主任ケアマネジャーと区役所と共催で年2回、新任、就労予定ケアマネジャー研修を開催、施設研修や個別実習の受け入れ等を行います。
- ・適宜ケアマネジャー相談支援、支援困難事例の相談支援、カンファレンスの開催等を行っています。
- ・エリアの民生委員とケアマネジャーとの交流会を実施し、双方の関係づくりの支援を行います。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・地域の関係機関などの相互の連携を高め、ネットワークを構築していけるよう、地域住民、地域の医師、民生委員、介護関係者など、多職種と協働し、事例を通して個別ケースの支援内容を多角的に検討し、課題解決を支援していけるよう個別ケース地域ケア会議を開催します。
- ・また、個別ケース地域ケア会議で抽出された課題や地域アセスメントからの課題などを関係者間で共有し、検討する包括圏域地域ケア会議を年2回開催します。

介護予防事業

介護予防事業

- ・平成 25 年度に立ち上がった横浜市介護予防事業「元気づくりステーション南希の森」に続き、平成 27 年度に立ち上がった 2 つ目の「元気づくりステーションヒルズのわ」を引き続き支援してまいります。今年度も 9 月下旬より元気づくりステーションの準備講座を開催し、3 つ目の元気づくりステーションの立ち上げを目指します。準備段階より活動の場となるエリアの方々に声をかけ、講師の先生との打合せ時より関わって頂き、地域が主導する形ですすめてまいります。年齢や心身の状況などによって分け隔てることなく、住民運営の通いの場を充実させ、「地域づくり型介護予防事業」の推進を図ります。
- ・地域の身近な相談役として、ケアプラザの機能を活かし、区との共働で地域の介護予防活動の充実のための後方支援を継続して行ってまいります。
- ・平成 25 年度に立ち上げた介護予防に資するボランティアグループ「シニアサポーターひまわり」の育成と拡大を目指し、スキルアップのための学習会や講座の開催、デイサービスへの慰問などを企画し、地域に根付く団体となれるよう継続支援してまいります。
- ・介護予防、日常生活支援総合事業の開始に向けて、地域のアセスメントを元にインフォーマルサービスや資源の把握を行い、情報収集していくことで、スムーズな事業移行ができるように努めます。

生活支援体制整備事業

ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成

区役所、地域包括支援センター、地域活動交流などで把握している情報、介護予防の地域アセスメント、相談票の内容、地域ケア会議や支えあい連絡会などで抽出された課題など、希望が丘地区、希望が丘南地区それぞれの地域の特性を確認し、必要に応じてアンケートの実施や地域資源マップを作成し、地域のニーズを把握することに努めます。また、地域の高齢者の集まる場所（自治会館、サロンなど）をまわり、どのような活動をしているか、活動時の困りごととは何か等を把握するとともに、生活支援に役立つような施設（福祉関係の事業所、店舗、地区センター、学校など）や企業（宅配弁当、スーパー、コンビニ、テニススクール、スポーツジムなど）がどこにどれくらいあるかを把握して、地域資源情報リストの作成に努めます。

圏域レベルの協議体の設置・開催

地域のニーズや資源を把握し、区、区社協、地域、地域ケアプラザで連携を取り協議体の設置を目指します。2 つの地区の地域性により、課題や目標が違うことが予測されることを考え、協議体は希望が丘地区、希望が丘南地区それぞれで設置する予定です。

地域の各種団体（老人会やボランティア団体等）の代表者等や地域の自主的な活動の担い手となる方、地域ケアプラザ職員等の多様な主体が情報を持ち寄り、地域の課題や資源創出について話し合うための定期的な情報共有、連携強化の場づくりを目的とし、今年度は希望が丘地区、希望が丘南地区各 1 回ずつの協議体の開催を目標とします。

圏域レベルの目標・取組事項の設定

各地域の基本情報、ニーズや資源の状況をもとに、今後どのような住民が増え、地域活動はどのような傾向にあるか、施設や交通環境等をふまえてどうなるかなど、考えられる要素をもとに、地域の2025年の将来像を描き、地域福祉保健計画なども参考にしながら、具体的な目標、当面の課題を区社協、区、区社協、地域、地域ケアプラザで共有して、連携を図りながら、今後の取組事項を設定していきます。

具体的な取組事項への着手

高齢者一人ひとりができることを大切にしながら暮らし続けるために、高齢者自身も含めた地域の多様な主体（ご近所から企業まで）が連携・協力するまちづくりを目指し、地域の多様な主体が地域の課題を認識し、地域資源となる活動や取組を行おうとする、あるいは発展、拡大していこうという意欲を引き出せるよう、地域の方たちとの信頼関係を構築し、各関係団体にアプローチをしていきます。

また、ケアプラザの自主事業、立ち上げ予定の元気づくりステーション、既存の元気づくりステーション、ボランティア団体の活動など、各団体で現在担い手となっている方やこれから担い手となる方を発掘し、他団体での活動参加の機会や交流の場の提供を行い、担い手の方たちの活動の場を広げていけるよう支援していきます。

「認知症をみんなで支えるまちづくり検討会」では、昨年地域の各関係者の方と洗い出した地域資源を確認するとともに、地域で足りないものは何かを話し合い、地域のニーズを分析していきます。

また、地域が主体となり立ち上げ予定の「認知症カフェ」を地域包括支援センター、地域活動交流と連携、支援していきます。

その他

--

平成28年度 地域ケアプラザ収支予算書

施設名: 横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			生活支援体制整備	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	認知通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	18,055	23,195	149		5,789				
	介護保険収入				4,200		28,000	112,413	5,772	23,815
	その他	0	0	0	1	0	1	2,801	144	592
	受取利息配当金				1		1	2		
	借入金利息収入									
	給食費、雑収入							484	25	102
	補助金							486	25	103
	施設整備補助金							1,829	94	387
	収入合計(A)	18,055	23,195	149	4,201	5,789	28,001	115,214	5,916	24,407
	支出	人件費	9,419	21,341		68	5,480	22,777	77,787	3,994
事務費		3,009	1,234		164		923	6,638	341	1,406
事業費		871	723	149		309	80	15,465	794	3,276
管理費		3,486	927							
その他		1,270	▲ 1,030	0	0	0	1,000	6,382	328	1,352
運営協議会		42								
修繕費		474	126							
消費税		754								
介護報酬補填			▲ 1,156							
退給引当資産								54	3	11
利息								273	14	58
元金償還								5,659	291	1,199
固定資産取得						1,000	396	20	84	
支出合計(B)	18,055	23,195	149	232	5,789	24,780	106,272	5,457	22,514	
収支 (A) - (B)	0	0	0	3,969	0	3,221	8,942	459	1,893	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ **指定管理料提案額をベースに作成してください。**

平成28年度 自主事業計画書
横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌声喫茶	地域住民（主に中高年）を対象に、歌を歌うことでの健康増進を目的として開催します。参加者に事業の準備や片づけを呼びかけ、参加者皆で会を運営していただけるよう事業を進めていきます。28年度4月より、開始時間を10時30分から10時に変更します。	第1土曜日 10時～12時 年間12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふらっとサロン	地域住民（主に高齢者）の交流の場の提供と、ボランティア活動の場を提供する目的で開催します。散歩の途中に気軽にふらっと寄っていただけるよう、ケアプラザ新聞やチラシ等で開催日の告知を行います。第2日曜日は、午前中に男性のお菓子教室を開催し、参加者にお菓子作りとサロンでのボランティア活動をしていただきます。第4日曜日は引き続き、午前中に開催しているマーガレットケーキ教室にお菓子の提供とサロンでのボランティア活動をお願いします。	第2第4日曜日 13時～ 15時30分 年間24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆったり体操教室	既存の体操教室に参加が難しい高齢者を対象に介護予防を目的とした体操教室を開催します。イスに座って、セラバンドやゴムボールを使用した体操を60分、カードや輪投げなどのレクリエーションやゲームを30分を行います。	第2第4水曜日 10時～ 11時30分 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサロン mam-mam	0歳児から未就園児の親子を対象に親子交流サロンを開催します。前半はフリースペースとして、後半はママのヨガ教室を開催します。季節に応じたイベントや行政との共催事業なども行います。また地域の子育て経験者にボランティアを呼びかけ、活動の場の提供を行います。	第1木曜日 10時～ 11時30分 年11回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ガーデニング教室 Happy Garden	新たに新規参加者を募集し開催します。園芸をすることによる健康増進を目的に行います。事業の中でケアプラザの庭の草花の植え込みや手入れを行っていただくことで、園芸ボランティア育成も行います。28年度はハーブや観葉植物を中心に行い、ケアプラザ館内の植物の管理も事業の中で行う予定です。第4火曜日の10時から、園芸ボランティアの日と決めて、ケアプラザの敷地内の植物の手入れを行います。	第2木曜日 10時～ 11時30分 年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性の料理教室 ダンディキッチン	地域の男性を対象に、男性同士の交流の場の提供と、夜間帯の貸室稼働率アップを図ります。講師は旭区ヘルスマイトに依頼をします。買い物や片づけなど、参加者が主体的に参加できるよう支援を行います。28年度は、事業の中で福祉活動を行う予定です。	第3木曜日 16時～ 18時30分 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性のお菓子教室 ダンディ パティシエ	地域の男性を対象に季節のお菓子作りを行います。ふらっとサロンの前に開催し、サロンのお菓子の製作の他、サロン運営のボランティア活動も行います。	奇数月 第2日曜日 年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体説明会	ケアプラザを利用されている団体向けに、貸室の申込みや利用方法、緊急時避難経路について説明を行います。また会の最後には、日ごろ利用されている皆さんからご意見を伺う時間を設けます。	5月31日 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
宿題応援隊	子育て支援の一環として夏休みの自由研究の題材提供や冬休みの書き初めの宿題の応援をします。午前中に子ども料理教室を行い、午後に宿題応援隊を開催します。1日を通して行うことで、小学生の長期休みの余暇支援をします。	7月、12月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子ふれあい教室	親子の交流を目的として、お父さんも一緒に参加出来るよう土日に開催します。秋に救急・防災教室、1月に子どもお餅つき大会を開催します。	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパといっしょにあそぼう	0歳児から未就園児の父子を対象に、親子のふれあいやパパ同士の交流を図ります。親子体操・廃材遊び・プール・料理教室などを行います。	偶数月 第1日曜日 10時～ 11時30分 年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ祭り	日ごろの感謝の気持ちを込めて、地域住民との交流の場として開催します。介護相談・体力測定、子ども向けのコーナー、飲食販売コーナー、地域作業所の販売コーナー、ステージ発表等を設けます。地域のジュニアボランティアや登録団体にボランティアを依頼し、ボランティア活動の場の提供も行います。	11月3日 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おせち料理教室	地域で活動されている配食ボランティア団体に講師を依頼し、伝統的なおせち料理を教えてください。自宅でおせち料理を作ったことのない比較的若い年齢層の方を対象に行い、世代間交流も図ります。	12月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
年末みんなで大掃除会	2階交流スペースを利用されている団体に案内をして、福祉保健活動の一環として使用している部屋の清掃をさせていただきます。また清掃終了後に意見交換会を行い、利用についての意見交換が出来る場を作ります。	12月27日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアの集い	ケアプラザで活動をされているボランティアを対象に、ボランティア同士の交流の場の提供と、情報交換や意見交換を行います。またデイサービスや地域包括支援センターの職員にも参加してもらい、ボランティアとの交流を図ります。	3月29日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
3 ケアプラザ合同障害児余暇支援事業 なつつこスマイル	南希望が丘・笹野台・川井地域ケアプラザ合同で学齢障害児余暇支援事業を行います。各ケアプラザエリアで参加者とボランティアを募り、参加者の交流を図ります。7月は川井地域ケアプラザ、8月は笹野台地域ケアプラザの会場で開催します。	年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
きぼうファーム	希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会、第3期地域福祉保健計画の取り組みの一つとして、障害児余暇支援事業を行います。障害のあるお子さんのご家庭と地域とのつながりや、顔の見える関係づくりを行い日頃から地域での穏やかな見守りにつなげます。菜園活動を通じて、交流を図ります。	年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミデイ	月に1回の事業に参加することにより、高齢者の方の閉じこもりを防止し、仲間づくりの場所として提供していきます。また、ハンドベルや歌、工作による手作業、脳トレや転倒予防講座、体を軽く動かす運動会など、介護予防の要素も盛り込んでいきます。毎回、お茶とお菓子を楽しみながら交流を深めていきます。	第2月曜日 10時～11時半 月1回(年11回) 参加費 200円

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い	地域の介護者を対象に、施設協力医大竹先生からアドバイスも頂きながら、参加される方同士の情報交換や交流、気分転換を図る場を提供していきます。介護に役立つ情報や頭の体操など、日頃の介護の悩みや疲れを共有していける場となることを目指します。	第2水曜日 14時～15時半 奇数月(年6回) 参加費 無料

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域介護予防 活動支援事業 シニアサポーター ひまわり	地域活動の介護予防ボランティアとして、活動できるスキルを学んでもらうことで、自分たちのいきがづくりや地域の担い手になっていく気持ちを育てていきます。地域づくり型事業「元気づくりステーション」の支援を引き続き行いつつ、自分達でできる介護予防普及啓発活動を身につけていけるよう促していきます。今年度は手話、デイサービスの慰問なども盛り込み、更なるスキルアップを目指します。	第3木曜日 10時～11時半 月1回(年11回) 参加費 無料

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域介護予防 活動支援事業 レクリエーション 習得講座	健康体操や頭の体操、レクリエーション、活動のアイスブレイクに使えるような楽しいプログラムを学びます。これらを使ってデイサービスや地域サークルなどへのボランティア活動で地域貢献を目指すとともに、参加者一人ひとりが生き生きとした張りのある生活を送る事で、介護予防活動の支援を行います。	9月中旬 年1回 参加費 無料

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防 普及啓発事業 俺の講座 (男性講座)	身体によいとわかっていても、女性が多いと参加しにくいという声を受けて、今年度、男性のみを対象とする男性講座「俺の講座」を開催します。健康に対する意識はあっても介護予防に取り組むきっかけをつかむことが出来なかった方を掘り起こしたいと考えています。3回シリーズの1回目はセラバンドを使用し、主に筋力トレーニングを行い、筋力アップを図ります。2回目はひとり飯と題して低栄養予防、偏りのないバランスの取れた食事を短時間で作ります。食事の面から健康な身体を作ります。3回目は精神統一、リラックス効果で心も体もリフレッシュします。運動や食事の面から心と体の健康を図ります。	6/15(水) 7/14(木) 8/5(金) 年3回 参加費 2回目のみ300円

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防 普及啓発事業 (女性講座)	女性が楽しめる講座や女性特有の悩み解消のための講座を3回シリーズで開催します。1回目は「いきいき美容教室」を開催します。実は化粧は脳を刺激して気持ちを変えたり、また、身体にとっても良い運動になるといわれており、化粧のちからでいつまでも元気でいきいきと活動していけるような講座にしたいと考えています。2回目は骨盤底筋体操を企画しています。年齢を重ねるにつれ、女性がかかえる尿もれの問題を改善します。3回目はピラティス講座を開催し、身体を正しく鍛えることで、腰への負担を減らし、筋肉と骨の動きをスムーズにして、バランスの取れた体を作ることにより介護予防を行います。	11/22(火) 12/14(水) 1/19(木) 年3回 参加費 1回目のみ500円

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防 普及啓発事業 ロコモ予防大作戦 ① in 南希CP	口腔ケアとロコモ予防運動の2回シリーズで開催します。1回目は「健康は健口から」をテーマに加齢とともに起こる様々な口腔機能の低下や、口臭や歯周病の原因などについて学び、自分の口腔内の状態を把握して、日頃から取り組める口腔体操や口を使ったゲームを取り入れながら口腔ケアを行います。2回目は「元気な歩きをゲット」をテーマにロコモ予防を行います。加齢に伴う筋力低下で、「立つ、座る、歩く」などの移動能力が低下します。まずはロコモ度テストを行い、自分の体の変化や運動の必要性を理解し、ストレッチと筋トレを組み合わせた効果的なプログラムを行うことにより介護予防を行います。	6/27(月) 7/4(月) 2回コース 参加費 無料

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防 普及啓発事業 ロコモ予防大作戦 ② in 南希CP	栄養改善とロコモ予防運動の2回シリーズで開催します。1回目はロコモ予防運動講座で、ロコモ度テストを行い、自分の体の変化や、運動の必要性を理解し、ストレッチと筋トレを組み合わせた効果的なプログラムを行うことで介護予防を行います。2回目は栄養改善講座で、高齢者の保健指導の中で重要な低栄養状態の予防についてやバランスのよい食事の大切さを学びます。食事は毎日の生活で大きな楽しみとなり、食べることは生きる活力にもなります。日頃から取り入れやすい簡単なレシピを学びます。	3/16(木) 3/23(木) 2回コース 参加費 無料

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防 普及啓発事業 元気づくりステーション準備講座 (中希望が丘)	歩いて行ける場所で、地域みなさんと一緒に楽しく体を動かすことのできる居場所づくりのための横浜市介護予防事業「元気づくりステーション」を立ち上げるための準備講座です。準備段階から地域の方にも入っていただき、体操講師との打ち合わせを行うことにより、続けてやりたいと感じられる講座を作ります。頭と体を動かすレクリエーションで介護予防を行います。	9/30(金)～ 毎週金曜日 14時から15時半 参加費 200円

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症をみんなで ささえるまちづくり 検討会	認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの取り組みとして、地域住民や各関係団体が作る認知症啓発活動を支援するとともに、認知症でお困りの方の暮らしを地域でどう支えていったら良いか、地域の民生委員代表、連合町内会長、医師、ボランティア団体、キャラバンメイト、介護保険事業者、区役所地区担当者、地域活動交流部門、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターで考えて、問題点を洗い出し、みんなで共有していきます。	7月、12月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護保険制度講座 ～2016～	介護保険制度について、地域住民に対し、広く周知させることを目的とします。介護保険制度の背景や、仕組みと概要、改正後に何が変わったのか、また、今後の動向について、大磯町社協事務局長・地域包括統括管理者である木内健太郎氏を講師に迎え、わかりやすく「介護保険制度」について講義を行っていただきます。	7/8 (金) 15時半～17時 年1回 参加費 無料

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護シリーズ 老い支度	権利擁護シリーズとして相続や終活、自分史などをテーマに「老い支度」について、5回にわたり地域住民を対象に普及啓発を行います。1回目は「自分史活用」と題して、今までの人生を振り返っていきます。2回目以降は「相続」をテーマにエンディングノートを用いて、自分らしい生き方を元気づちから考えていき、在宅サービスや施設サービスについても学んでいきます。また、お墓の事や遺言、相続についても考えていきます。	6/29 (水) 8月、9月、 10月、12月 年5回 2回のみ エンディング ノート代として 300円

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護シリーズ 消費者生活講座	地域住民、特に高齢者を対象に近年著しく増えている振り込め詐欺などの悪徳商法の手口や見分け方、早期発見や解決のポイント、クーリングオフのやり方など、寸劇などを用いてわかりやすく周知し、地域住民や高齢者の消費者被害に対しての意識付けを図ります。	3月 年1回 参加費 無料

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護シリーズ 認知症について考 える2016	認知症についていろいろな角度から理解を深めてもらうため、「認知症予防講演会」と「成年後見制度講座」を同時に開催し、「認知症になっても安心して暮らせる街」をテーマに、認知症の症状、早期発見の大切さ、認知症の方に対する声のかけ方や成年後見制度のしくみ、具体的な活用法など、認知症について広い視野で考えていきます。	12月 年1回 参加費 無料

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度講座	地域住民を対象に、年齢を重ねても安心して暮らしていけるよう、成年後見制度の普及啓発を行います。権利擁護、成年後見制度の基礎知識、成年後見人としての実務など、わかりやすく解説します。また、あんしんセンターの利用法などの内容などをもりこんだ講座を開催します。	11月 年1回 参加費 無料

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター 養成講座	認知症の方が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、認知症の方や家族の理解者となる認知症サポーターを養成することを目的とし、認知症についてや認知症の方への接し方などを普及啓発していきます。講座は小学生対象のものと地域住民対象のものと2回行い、参加者にはオレンジリングを配布します。地域住民対象の講座では認知症キャラバンメイト(旭区ひまわりの会)の方からお話をさせていただく予定です。	5/13 (金) 11月、2月 (地域住民対象) 8月 (小学生対象) 年4回 参加費 無料

*** 行が足りない場合は、行を挿入して記載してください。**

*** 事業ごとに別シートや別ファイルにする必要はありません。すべてこのシートに記載してください。(今年度変更点)**

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ 平成28年度自主事業収支計画書

(単位:円)

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
歌声喫茶	地域住民	125,540	5,540	120,000	93,540	15,000	17,000
	100人						
	100円(1回)						
ふらっとサロン	地域住民	144,000	57,000	87,000	5,000	132,000	7,000
	20人						
	200円程度						
ゆったり体操教室	高齢者	147,072	3,072	144,000	133,632	0	13,440
	15人						
	400円(1回)						
子育てサロンmam-mam	0歳児～未就園児	23,720	11,720	12,000	2,000	10,000	11,720
	10組						
	100円(1回)						
ガーデニング教室 Happy Garden	地域住民	108,380	18,380	90,000	22,000	80,000	6,380
	10人						
	200円別途材料費						
男性の料理教室 ダンディキッチン	地域の男性	84,000	26,400	57,600	24,000	60,000	0
	8人						
	900円(1回)						
男性のお菓子教室 ダンディパティシエ	地域の男性	38,360	9,560	28,800	12,000	18,000	8,360
	8人						
	600円(1回)						
登録団体説明会	登録団体	0	0	0	0	0	0
	56人						
	なし						
宿題応援隊	小学生	26,304	2,304	24,000	3,000	20,000	3,304
	12人						
	1000円						
親子ふれあい教室	地域の親子	16,680	8,680	8,000	0	15,000	1,680
	20人						
	200円						
パパといっしょにあそぼう	地域の親子	24,360	19,360	5,000	15,000	6,000	3,360
	10組						
	100円(別途材料費)						
ケアプラザ祭り	地域住民	52,800	12,800	40,000	0	50,000	2,800
	200人						
	200円程度						
おせち料理教室	地域住民	8,560	560	8,000	3,000	5,000	560
	10人						
	800円						
年末みんなで大掃除会	施設利用団体	3,560	3,560	0	0	3,000	560
	30人						
	無料						

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ 平成28年度自主事業収支計画書

(単位:円)

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ボランティアの集い	ボランティア	5,000	5,000	0	0	0	5,000
	20人						
	なし						
3ケアプラザ合同 障害児余暇支援事業 なつつこスマイル	障害児	69,120	24120 3cpで折半	45,000	8,000	60,000	1,120
	15人						
	1500円						
きぼうファーム (参加収入等、収支については きぼうファームで管理)	障害児	0	0	0	0	0	0
	10人						
	300円						
ミディ 月1回(年11回)	高齢者	43,000	5,600	37,400	0	41,880	1,120
	187人						
	200円						
介護者の集い 2か月1回(年6回)	地域住民	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	54人						
	無料						
シニアサポーターひまわり 月1回(年10回) 地域介護予防活動支援事業	地域住民	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	82人						
	無料						
レクリエーション習得講座 年1回 地域介護予防活動支援事業	地域住民	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	42人						
	無料						
俺の講座(男性講座) 年3回 介護予防普及啓発事業	高齢者	35,120	29,120	6,000	25,000	9,000	1,120
	60人						
	300円(1回目のみ)						
女性講座 年3回 介護予防普及啓発事業	高齢者	27,120	17,120	10,000	23,000	3,000	1,120
	60人						
	500円(1回目のみ)						
ロコモ予防大作戦①南希CP 年2回 介護予防普及啓発事業	高齢者	31,560	31,560	0	27,000	4,000	560
	40人						
	無料						
ロコモ予防大作戦②南希CP 年2回 介護予防普及啓発事業	高齢者	31,560	31,560	0	27,000	4,000	560
	40人						
	無料						
元気づくりステーション準備講座 年6回 介護予防普及啓発事業	高齢者	47,360	23,360	24,000	15,000	29,000	3,360
	120人						
	200円						
認知症をみんなでささえる まちづくり検討会 年2回	地域住民	6,000	6,000	0	0	6,000	0
	50人						
	無料						
介護保険制度講座～2016～ 年1回	地域住民	10,023	10,023	0	10,023	0	0
	30人						
	無料						

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ 平成28年度自主事業収支計画書

(単位:円)

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
権利擁護シリーズ 老い支度 年5回	地域住民	26,658	26,658	0	25,615	1,043	0
	150人						
	無料						
権利擁護シリーズ 消費者生活講座 年1回	地域住民	500	500	0	0	500	0
	15人						
	無料						
権利擁護シリーズ 認知症について考える2016 年1回	地域住民	33,342	33,342	0	32,299	1,043	0
	30人						
	無料						
成年後見制度講座 年1回	地域住民	0	0	0	0	0	0
	15人						
	無料						
認知症サポーター養成講座 年3回	地域住民、小学生	2,000	2,000	0	0	2,000	0
	80人						
	無料						

* 行が足りない場合は、行を挿入して記載してください。

* 事業ごとに別シートや別ファイルにする必要はありません。すべてこのシートに記載してください。(今年度変更点)